

辺野古新基地建設工事の中止・普天間基地撤去を求める 国会請願署名用紙活用のお願い

署名用紙 A4判 無料 (送料実費負担)



安部破棄中央実行委員会
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-11-13 MMビルⅡ502
電話 03-3264-4764 E-mail: anpohaiki@nifty.com
署名にご協力ください

代執行による辺野古新基地建設工事の中止と 普天間基地の無条件撤去を求める請願

衆議院議長 様
参議院議長 様 (各約500名)

(各約50名)

◆ 請願趣旨 ◆

政府は、沖縄県を縦断する大浦湾を米軍辺野古新基地建設工事を進めています。
この工事は、2021年11月に沖縄県知事が不承認とした、軟弱地盤改良工事のための設計変更を国土交通大臣が2023年12月に「代執行」で「承認」して行われているものです。
「代執行」で実施される工事は大きな問題があります。
政府は、2014年の工事着手以前から把握していた軟弱地盤の存在を隠ぺいして工事を実施し、2020年になって設計変更を申請しました。その軟弱地盤は水深90mにまで広がっていますが、現在の設計では水深70mまでしか改良ができません。地質学の専門家からは工事にも崩落する可能性が指摘されています。
また、サンゴなど稀少種を含む5300種以上の生物が生息する大浦湾を埋め立てることは公有水面埋立法からみても大きな問題があります。
そのような状況を進ませて設計変更申請を沖縄県が不承認にしたのは当然のことです。
政府が、「世界一危険」として、沖縄県宜野湾市にある米軍普天間基地の返還を打ち出してからすでに28年以上が経過しています。最近の政府の試算によっても新基地引き渡しまでに今後12年かかることされており、負荷の重く「一日も早い普天間基地の危険性除去」は実現できません。
辺野古新基地建設工事は、この間の沖縄県知事選や2019年米軍の沖縄県民投票で表明された、新たな基地建設のための埋め立てを拒否するという沖縄県民の意思を踏みにじるものであり、許されません。また、憲法で保障された地方自治体の権限を踏みにじる点でも大きな問題があります。
以上により、下記事項の実現を求めます。

請願項目

- 辺野古新基地建設工事を中止すること。
- 普天間基地の即時閉鎖・無条件撤去をアメリカに求めること。

氏名	住所

取り扱い団体
【送付先】 安部破棄中央実行委員会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-11-13 MMビルⅡ502

安部破棄中央実行委員会 Eメール: anpohaiki@nifty.com
TEL: 03-3264-4764 FAX: 03-3264-4765

注文書 2024年 月 日

注文枚数	辺野古新基地建設中止署名	枚
お名前		
送付先	〒	
TEL		